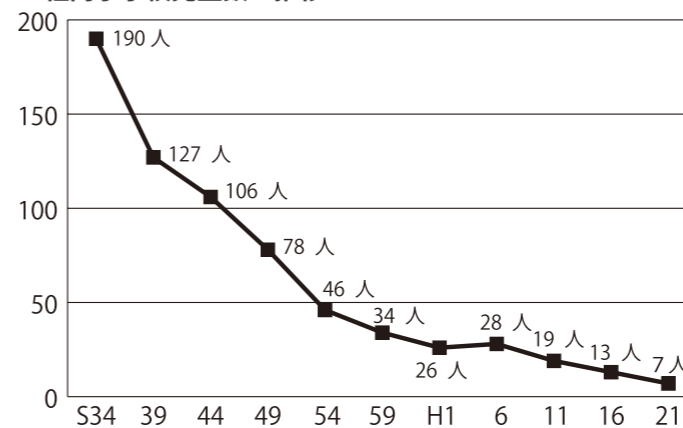


地域とともに歩み続けた 程内小学校134年の歴史

国道379号から鶴川沿いに北へ6
 ほど入った緑深く静かな山間にある
 程内小学校。明治9年に北部小学校と
 して開校して以来、この地で134年
 の歴史を刻んできました。
 程内地区は、明治から大正にかけて
 鉾山でおおいに栄えたところ。当
 時は鉾山で働く人々のために社宅や病
 院、演芸場、競馬場、マーケット(商店)

■程内小学校児童数の推移



■程内地区内の行政区別人口など (22年3月1日現在)

	熊ノ滝	甲影山	乙影山	程内	計
世帯数(戸)	27	20	21	34	102
人口(人)	68	53	41	96	258
高齢化率(%)	54.4	41.5	53.6	40.6	46.5
15歳未満人口(人)	4	5	0	7	16

などがあり、また町内でいち早く電気
 の恩恵を受けたところでもあるとい
 われています。そのような環境の中、
 人々は地域に誇りと愛情を抱きなが
 程内ならではの教育文化を育んできま
 した。
 昭和31年、当時の程内小学校および
 中学校が火災で焼失してしまつた際
 は、大瀬中学校への統合が議会でほ
 決定されていた中、地域の強い要望に
 よつて存続。多くの住民が汗を流し、
 翌32年、新しい校舎が完成しました。
 37年に完成した同校の校歌では「あ
 程内はわれらの学校われらの力／望
 命」と高らかにうたわれています。
 地域の輝きの中心として、住民が一
 体となり、ともに歩んできた程内小
 校。今日でも、参観日、運動会、遠足、
 すもう大会など、さまざまな学校行事
 に地域の人々が積極的に関わり、子
 もたちを見守り育ててきました。
 しかしながら、時代の移り変わりの
 中で児童数が急激に減少。昭和34年
 に190人いた児童数は平成21年に7人
 となり、今後も増加の見通しが立た
 ない状況となっています。そして平成
 22年3月、惜しまれつつその歴史に幕
 閉じることとなったのです。



閉校式では同校にゆかりのある人々が一堂
 に会し、思いを込めて校歌を斉唱しました

それぞれの胸に迫る思いの中で 平成22年3月25日 閉校式



程内小学校校務員
大森 房子さん

わたしが程内小学校に入学したのは昭和20年。ちょうど戦時中で、毎日学校に行くことはできませんでした。終戦後は、米兵が学芸会を見に来たのを覚えています。そのころ、学芸会は数少ない余興の一つとして地域のみんなが楽しみにしており、大勢の観客

が集まってとてもぎやかでした。

その後、わたしの子どもや孫も程内小学校に通い、卒業。また、わたしは昭和63年から校務員を務めてきました。時代の流れとともに学校の様子も変わっていきましたが、子どもたちはいつも笑顔いっぱい。「おはよう」の声で始まる毎日がとても楽しみでした。

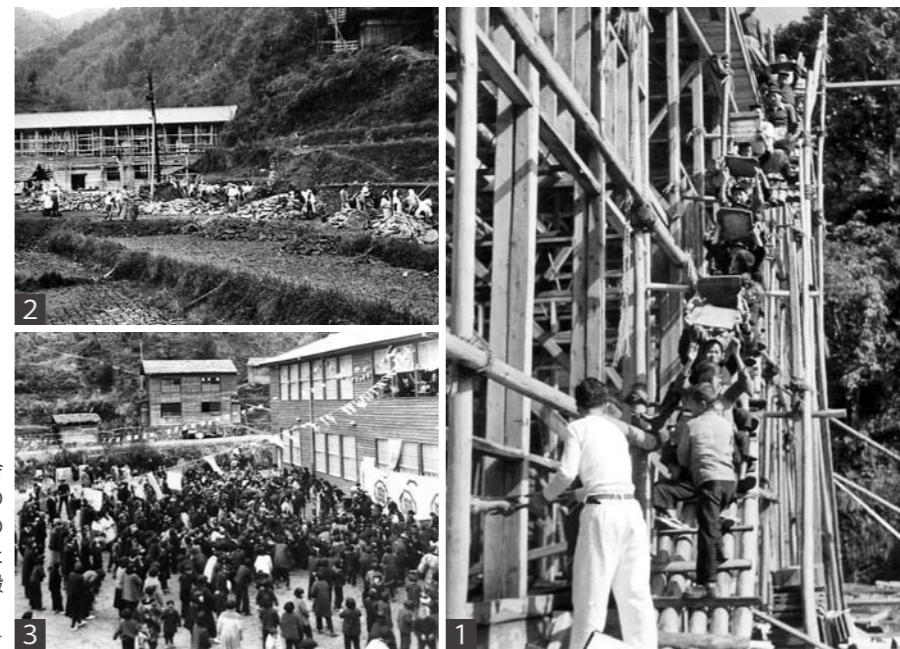
まだ閉校という実感はありませんが、子どもたちが運動場を駆け回る姿が見られなくなってしまうのは、きっと寂しいでしょうね。

その昔、大瀬地区には小学校が2校しかありませんでした。それがやがて人口の増加とともに7校となり、いままた次第に減少して、4月からはとうとう大瀬小学校だけになります。

程内地区は、昔から教育にとっても熱心なところ。地域の先輩方が、時には汗を流して校舎を造り、力を合わせて、134年もの長きにわたって学校を支えてきました。その程内小学校がわたしたちの代で閉校となつてしまふ辛さは、とても一言で語ることはできません。

近年は全国的にも子どもの数が減り、閉校のニュースも季節の風物詩のようにたびたび目にするようになってしまいました。程内地区でも、閉校については10年以上前から地域で何度も話し合われてきました。そして今、ついにその時が来たのだと感じています。

程内小学校PTA会長
瀧本 修一さん



昭和32年の新校舎
 建築・運動場造成の
 際には、地域住民の
 多大な協力があった
 1手渡して瓦を運搬
 2運動場整備
 3完成後のもちまき